

記事内容

- ☆第94回埼玉県中央メーデー
- ☆第94回埼玉県中央メーデー写真集
- ☆地域メーデー
- ☆ウクライナ募金・ふれあい募金報告/「私の提言」募集
- ☆2023春季生活闘争「第5回回答集計」
- ☆組織拡大推進者連絡会
- ☆6月の行動日程/医療生協さいたま
- ☆あけぼのビル

支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる! 笑顔あふれる未来をめざし 力を合わせ、ともに進もう!

第94回埼玉県中央メーデー

4月29日(土)、「支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる!笑顔あふれる未来をめざし 力を合わせ、ともに進もう!」をスローガンに掲げ、第94回埼玉県中央メーデーを開催しました。鐘塚公園には構成組織から1,488名の参加者と、来賓・推薦議員・執行部184名が集まり、4年振りの屋外開催となったメーデーは大いに盛り上がりました。

オープニングイベントでは「ウクライナの歌姫」ナターシャ・グジーさんをお迎えし、水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響きが会場を包み込み、参加者を魅了しました。

近藤会長は主催者挨拶において、平和の回復とウクライナへの支援と連帯を呼び掛け、長引くコロナ禍による社会・経済活動の停滞から、底上げ・底支え・格差是正、人への投資、社会的セーフティネットの強化などの政策・制度をつうじて、暮らしを守り、将来の希望につなげていく必要性を訴えました。

また、被災地の復興・再生に向けては、更に仲間と絆を深めながら、共に前に進んでいくとともに、働く仲間寄り添い、「必ずそばにいる存在」として労働組合の

役割を発揮していくと決意が語られました。

続いて来賓としてお招きした、大野元裕埼玉県知事、福祉事業団を代表して金井浩埼玉労福協副理事長、大島敦代表(立憲民主党)、鈴木義弘代表(国民民主党)、上田清司氏(無所属)から挨拶をいただき、働く仲間への応援メッセージでは、埼交運の遠藤浩司氏より、『ともに…』と題し「新型コロナウイルス感染症に苦しめられた今だからこそ、自分と自分以外の人の幸せを思い、ともに歩みを進めよう」と力強く訴えました。

その後、メーデースローガンとメーデー宣言の採択をおこない、最後に今井副会長による「団結ガンパロー」三唱で式典を締めくくりました。

式典終了後には、お待ちかねの仮面ライダーギーツの登場で、参加した子どもたちは大喜び。帰りに「楽しかった」とお父さんに伝える姿に、家族で参加するメーデーの復活を実感することができました。



ガンパロー三唱
今井 信博 副会長



近藤 嘉
連合埼玉会長



大島 敦
立憲民主党埼玉県連代表



大野 元裕
埼玉県知事



鈴木 義弘
国民民主党埼玉県連代表



金井 浩
埼玉労福協副理事長



上田 清司
参議院議員

第94回埼玉県中央メーデー写真集



メーデー宣言：
木村祐一さん(青年委員会)



メーデースローガン：
金子かおりさん(女性委員会)



働く仲間への応援メッセージ：
埼玉交通労働組合浦和支部 遠藤浩司さん



NPO法人 のらんど



NPO法人クッキープロジェクト



ワーカーズコープ



フードドライブ



ドリンクコーナー



東北3県(岩手・宮城・福島)の物産販売



中央ろうきん



こくみん共済coop



来賓のみなさん



お楽しみ抽選会
司会の石川智恵美さん(女性委員会)と
曾田友樹さん(青年委員会)



お楽しみ抽選会
会長賞!!



ウクライナの歌姫「ナターシャ・グジー」コンサート



団結ガンパロー

地域メーデー・前夜祭 開催模様

さいたま市地域協議会メーデー前夜祭

- ◆4月27日(木) 埼玉会館小ホール
- ◆参加者:150名
- ◆式典、アトラクション、抽選会
- ◆大室議長の主催者代表挨拶で始まった式典は、連合埼玉金谷副会長、埼玉労協佐藤専務理事、枝野衆議院議員、熊谷・高木参議院議員などの方々より祝辞をいただきました。また、第20回統一地方選挙でさいたま市内が選挙区となる県議会議員・市議会議員も出席し、4年ぶりのメーデー前夜祭式典が開催されました。第2部のアトラクションでは、阿部寛の物まねやYouTubeで話題の「ラパルフェ」による物まねとコントで会場は笑いに包まれました。最後にお楽しみ抽選会がおこなわれ大いに盛り上がり、翌々日に控えた連合埼玉第94回県中央メーデーでの再会を誓い、大室議長のガンパロー三唱で閉幕となりました。



秩父地域協議会

- ◆4月23日(日) 秩父ミュージックパーク野外ステージ
- ◆参加者:334名
- ◆式典、アトラクション、お楽しみ抽選会
- ◆本メーデーはマリンバとギター演奏のデュオ『erikuo』による華やかな演奏パフォーマンスにより幕を開けました。ローカル戦士センガタンや秩父市のゆるキャラ『ポテくま君』にも登場いただき、ステージは大いに盛り上がりしました。4年ぶり開催ということもあり運営側にも未経験者が多く、準備面で少し苦悩する部分もありましたが、当日はご家族揃って大勢の方に参加をいただき、気もちのよい天候の中、秩父地域協議会の活動についてご理解をいただけたことと思います。やっぱりリアル開催、最高です!!



北埼玉地域協議会

- ◆5月1日(月) さきたま古墳公園(行田部会)
- ◆参加者:200名
- ◆式典、抽選会
- ◆4年ぶりのメーデー開催となり、準備に不安はありましたが、円滑に設営できました。継続的におこなってきた取り組みが活かされた瞬間だと思います。1部では行田部会議長、来賓の挨拶から始まり、メーデー採択まで滞りなく終わることができました。2部で開催したビンゴ大会では、抽選番号を聞きながらカードを確認する皆さんの「一喜一憂」「喜怒哀楽」が印象に残る地区メーデーとなりました。来年も多くの方が参加したくなる取り組みを実施したいと思います。



- ◆5月1日(月) 羽生市中央公園(羽生部会)
- ◆参加者:160名
- ◆式典、抽選会

- ◆新型コロナウイルスの感染が日本で確認されてから、感染拡大防止の観点からメーデーの中止が続いていました。今年は、ガイドラインの緩和などを受け判断した結果、4年振りに開催することができました。開催するにあたり、メーデー経験者も減少している状況での開催となり、実行側も参加側も戸惑いの中での開催ではなかったかと思えます。当日は、天候に恵まれ5単組が集まり『労働者の祭典』を開催する事が出来ました。コロナ前と同じ様な規模での開催とはなりませんが、徐々に100%に近付けながら今後も継続していければと思います。



本庄・児玉郡地域協議会

- ◆4月23日(日) 本庄市役所駐車場
- ◆参加者:400名
- ◆式典、抽選会、デモ行進
- ◆新型コロナウイルス感染症の影響もあり4年ぶりに地協メーデーを開催する運びとなりました。しかし振り返ればこの4年間で役員の交代もあり、実施方法など覚えている方が少ない中、準備から開催に至りました。開催時期については、マスク着用は個人判断にする政府の発表が出たのみで、まだ2類から5類へ移行していない中での開催となったため、各単組の出席者は以前よりかなり少なくなりました。非常に残念であります。本庄児玉地協メーデーは県内唯一、道路上を団体行進する伝統を引き継いでおこなっております。今後も伝統を引き継ぎながらさらに良い内容にし、出席者増加に繋げていきたいと思っております。これからもご協力お願いいたします。



第94回埼玉県中央メーデー 「ウクライナ募金」「ふれあい募金」報告

ご協力ありがとうございました

4月29日(土)に開催した第94回埼玉県中央メーデーにおいて、参加者の皆さんにカンパ活動へのご協力をいただきました。

メーデーにおけるカンパ金は、全て「ふれあい募金」に活用していましたが、昨年「ウクライナ人道危機救援金」の募金活動に取り組みました。今もなお、ウクライナは困難な状況にあることから、今年は「ウクライナ支援」と「ふれあい募金」のカンパ活動に取り組みました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

【募金内容と活用方法】

- ①ウクライナ支援カンパ **金額 346,717円**
ウクライナの方々を人道的に支援するため、構成組織で集約したカンパ金は、日本赤十字社に寄付しました。
- ②ふれあい募金カンパ **金額 73,527円**
ドリンクと東北三県物産品の売上全額を「ふれあい募金」に寄付しました。



会場正面



会場サイド



会場斜め



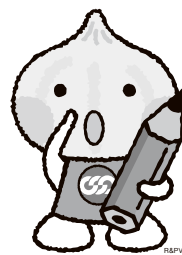
会場後方

第20回「私の提言」募集

「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の 実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと

連合・教育文化協会共催にて毎年開催している「私の提言」について、第20回となる今年は「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきことをテーマに募集します。

提言については、組合員、組合役員、OB・OGの方のみならず、学生の方、一般の方など、どなたでも応募いただけます。また、共同での執筆による応募も受け付けます。皆様からのご応募ならびに周知をお願いいたします。



連合・教育文化協会共催 第20回

「私の提言」募集



募集テーマ

「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の
実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募締切

2023年7月24日(月)

表彰

第20回
記念賞 1名 表彰盾と副賞 **20万円**
佳作賞 若干名 賞状と副賞 **10万円**
奨励賞 若干名 賞状と副賞 **3万円**
学生特別賞 1名 賞状と副賞 **12万円**
奨学金1万円×12ヶ月

☆応募者には、もちろん記念品を進呈(入賞者および審査対象外となった方を除く)。
☆発表 2023年9月28日(木)

応募資格

どなたでも応募いただけます

応募方法

Webサイトの応募フォームから応募

応募・お問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会
E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp
電話 03-5295-5421

詳しくは

教育文化協会 私の提言 検索



連合:2023春季生活闘争 第5回回答集計結果(抜粋) (5月8日現在)

連合は2023春季生活闘争の第5回回答集計を5月10日(水)に公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した4,833組合中3,686組合が妥結済み(76.2%)。うち賃金改善分を獲得した組合は2,146組合(58.2%)で、組合数・割合とも2014闘争以降最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した、3,681組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で10,923円・3.67%(昨年同時期比4,763円増・1.57ポイント増)、うち300人未満の中小組合2,478組合は8,328円3.35%(同3,331円増・1.33ポイント増)となった。4月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な2013闘争以降、額・率とも最も高く、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給56.48円(同31.94円増)・月給8,849円(同3,773円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ5.35%・3.96%となり、引き続き一般組合員(平均賃金方式)を上回ると共に比較可能な2015闘争以降で最も高い。

1. 賃金引上げ <第5回回答集計結果(5月10日公表)>

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2023回答(2023年5月10日公表)			昨年対比	2022回答(2022年5月9日公表)		
	集計組合数	定昇相当込み賃上げ計			集計組合数	定昇相当込み賃上げ計	
	集計組合員数	額	率		集計組合員数	額	率
	3,681組合 2,591,143人	10,923円	3.67%	4,763円 1.57ポイント	3,336組合 2,341,714人	6,160円	2.10%
300人未満計	2,478組合 251,900人	8,328円	3.35%	3,331円 1.33ポイント	2,292組合 229,515人	4,997円	2.02%
~99人	1,417組合 62,080人	7,040円	3.03%	2,542円 1.07ポイント	1,323組合 55,977人	4,498円	1.96%
100~299人	1,061組合 189,820人	8,764円	3.44%	3,602円 1.40ポイント	969組合 173,538人	5,162円	2.04%
300人以上計	1,203組合 2,339,243人	11,220円	3.70%	4,925円 1.59ポイント	1,044組合 2,112,199人	6,295円	2.11%
300~999人	768組合 415,225人	9,769円	3.55%	4,210円 1.51ポイント	648組合 349,627人	5,559円	2.04%
1,000人~	435組合 1,924,018人	11,533円	3.73%	5,085円 1.61ポイント	396組合 1,762,572人	6,448円	2.12%

※2023年と2022年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない

2. 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ <第5回回答集計結果(5月10日公表)>

時給	2023回答(2023年5月10日公表)			昨年対比	2022回答(2022年5月9日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)
単純平均	236組合	48.00円	1,121.54円	25.14円	246組合	22.86円	1,060.29円
加重平均	681,188人	56.48円	1,102.55円	31.94円	667,457人	24.54円	1,052.03円
月給	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)
	単純平均	68組合	8,878円	3.93%	4,362円	60組合	4,516円
加重平均	17,674人	8,849円	3.96%	3,773円	17,140人	5,076円	2.33%

組織拡大に徹底的にこだわり、2030年に800万人達成

2023年度組織拡大推進者連絡会

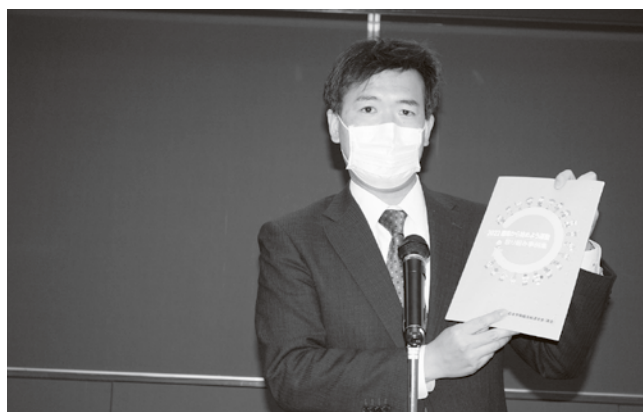
5月9日(火)第6回(拡大)執行委員会終了後、組織拡大推進者連絡会を開催しました。参加者は執行委員に加え、構成組織の代表14名と地域協議会の代表11名も加わり、全体で59名が参加しました。

冒頭、組織委員会委員長の高井副会長の開会挨拶のあと、連合本部・組織拡大局長の石川 昌平 氏から「連合『組織拡大プラン2030』と組織拡大の必要性について」をテーマに講義を受けました。

連合では約3年前から「組織拡大プラン2030」に取り組んできましたが、その基本的考え方は、①組織拡大は、安全で安心して働ける職場を実現するための社会正義の運動であること。②労働組合の意義として、従業員の過半数を代表する労働組合を実現し、従業員の代表としての地位を確立することで、職場の不平・不満を解決し、労働組合の組織強化につなげ、結果的に企業防衛力が高まること。③連合が考える労使関係は、企業の安定・発展なくして組合員の雇用の安定、労働条件の維持・向上はない。つまり労働組合は企業にとって良きパートナーであること。



連合本部 組織拡大局長
石川昌平氏



電機連合 YEM労働組合関東支部
河野輝機氏



高井副会長



会場の様子

④経営側へのアプローチとしては団交、労使協議会をつうじた対話重視であること。

これまでの「組織拡大プラン2030」の取り組み課題としては、①1000万連合に向け、さらなる組織拡大の必要性を浸透させること。②組織拡大に取り組む人材(オルガナイザー)の確保と育成。③組合員減少に歯止めをかけるため、組織強化と組織内拡大による組織率の向上をめざす。ということが挙げられています。

今後も引き続き組織の拡大に徹底的にこだわり、2030年までに800万人の中期目標を何としても達成するよう取り組んでいこうとの講義がありました。

続いて組織化事例報告として電機連合・YEM労働組合関東支部 執行委員長の河野 輝機 氏から、2020年12月親会社の安川電機労働組合との意見交換からスタートし、2022年1月に組合員加入率77%で労働組合を結成した過程について報告がありました。

現在予定される6月の日程表です

6月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	木		連合東京「埼玉県民の集い」(18:00～・としま産業振興プラザ)
2日	金		中央労働金庫越谷支店「幹事会」(18:30～・中央労金越谷支店)
3日	土		
4日	日		①蕨市長・市議会議員選挙投票日 ②連合関東ブロック「地域協議会活動推進会議」(～5日・山梨県ホテル談露館)
5日	月	第4回政策・制度委員会(13:00～・あけぼのビル)	国民民主党パーティー2023(18:30～・ホテルニューオータニ)
6日	火	全国一斉集中労働相談ホットライン(～7日)	連合「第10回地方連合会事務局長会議」(13:30～・連合会館)
7日	水	第7回四役・執行委員会(産別交流)	川越・西入間地域協議会「第3回幹事会」
8日	木		①関東ブロック「最低賃金担当者会議」(10:00～・連合東京) ②フードバンク理事会・運営委員会(15:00～) ③埼玉県社会保険労務士会「令和5年度通常総会」(18:00～・ホテルプリランテ武蔵野)
9日	金	①2023年度政策フォーラム(10:00～・大宮ソニックシティ) ②金属部門連絡会「第1回幹事会」(17:30～・大宮ソニックシティ801)	
10日	土		
11日	日	ワークルール検定(11:00～・ときわ会館)	
12日	月	第1回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・あけぼのビル502)	①構成組織・地方連合会「女性代表者会議」(13:30～・連合本部) ②秩父地域協議会「第9回幹事会」(18:00～・勤労者福祉センター)
13日	火	埼玉シニア連合「第4回幹事会」「第20回全組織代表者会議」(13:00～・14:00～・さいたま共済会館602)	
14日	水	①第2回連帯活動委員会(10:00～・あけぼのビル502) ②女性委員会「第5回幹事会」(11:00～・ときわ会館) ③女性委員会「女性のためのSTEPUPセミナー(初級編)」(13:30～・ときわ会館)	
15日	木		労働者福祉東部ブロック協議会「第14期福祉リーダー塾」(12:30～ 16日・東レ総合研修センター)
16日	金		①2023社会保障制度に関する構成組織・地方連合会政策担当者会議(13:00～・WEB開催) ②熊谷・深谷・寄居地域協議会「幹事会」(18:15～) ③さいたま市地域協議会「幹事会」(18:30～・浦和コミュニティーセンター)
17日	土	災害ボランティア救援隊研修会(初級)(9:00～17:00・ときわ会館)	
18日	日		埼玉教組「第35回定期総会」(13:30～・国立女性教育会館)
19日	月	オルガナイザー研修会(実践)(13:30～・ときわ会館)	
20日	火	①埼玉労働局への要請(10:00～・埼玉労働局) ②第2回地協議長・事務局局長会議(14:00～・あけぼのビル501)	
21日	水	ジェンダー平等・多様性推進委員会「トップセミナー」(15:00～・ときわ会館)	
22日	木		
23日	金	平和行動in沖縄(～25日・那覇市)	
24日	土		
25日	日		
26日	月		①フードバンク総会 ②連合関東ブロック・こくみん共済coop事業報告会
27日	火		ときわ会館「評議員会」
28日	水		①中央労働金庫「定期総会」(13:00～・労金本部・県本部・各支店) ②革靴最低賃金専門部会(13:30～・埼玉労働局)
29日	木		連合「全国セーフティネットワーク集会」(13:30～・WEB開催)
30日	金	四役会議・研修会(～7/2・熊本県)	

つながりで助け合い、支え合う
くらしサポーター制度

医療生協さいたまの「くらしサポーター制度」は、暮らしのなかの困りごとを組合員どうしで助け合う、有償ボランティア制度です。現在、県内20自治体で実施しています。

実施自治体

さいたま市、上尾市、桶川市、川口市、蕨市、草加市、朝霞市、新座市、ふじみ野市、富士見市、三芳町、川越市、所沢市、飯能市、狭山市、行田市、羽生市、熊谷市、深谷市、秩父市

利用料金 **60分 700円**

※はじめは60分未満でも700円となります。

60分以降については、**30分延長ごとに350円**となります。

※交通費が生じる場合は実費をご負担頂きます。



実施自治体では、地域で困っている方のためにお手伝いするサポーターも募集中。(活動費は60分700円をお渡しします) 医療生協に加入していない方もご相談ください。

お問い合わせ・お申込み

医療生協さいたま 本部 くらしサポーター事務局 ☎048-296-8692(月～金曜日 9:00～17:00)



医療生協さいたま

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317





<はじめに>

新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2類から5類へと変更され、人の往来も大きく増えてきました。また、観光先や飲食店の賑わいもコロナ禍前に戻ってきているところもあり、いよいよ本格的にアフターコロナ社会が到来しそうな状況になっています。

このような状況の中で、国では「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(※)」が策定され、「新しい資本主義実現会議」には、2021年10月の第1回会議から、連合の芳野会長も参加して意見・要望をおこなっています。

その中で、漠然としている「新しい資本主義」について、触れてみたいと思います。

<資本主義の歴史>

資本主義のはじまりは、18世紀のイギリス、産業革命により生産手段を持つ資本家が、労働者の労働力を使い、利益を追求する社会からになります。したがって、労働の対価で賃金をもらう労働者のはじまりは、資本主義のはじまりと重なります。

しかし、資本家が利益を追求するあまり、労働者には劣悪な労働環境や低賃金といった問題が発生します。この頃に労働環境の改善に向けて労働者が立ち上がったことが労働組合のはじまりでもあります。

そして、労働組合にとって重要な労働者の団結する権利は、イギリスの「アダムスミスの国富論」により、「資本主義、自由経済の中では、労働者に団結権を与えた方が、市場のメカニズムを助ける」という論文を発表したことから、労働者への団結権を認める法律がイギリスにできたと言われています。

その後、資本主義社会は、欧米各国に広がり、世界経済のシステムを支えていきますが、市場に任せてばかりいた中で、1929年の世界大恐慌が発生します。株価の暴落などにより多くの失業者が出る中で、アメリカのニューディール政策が有名ですが、国が公共事業などで積極的介入して市場を安定させ、雇用も安定させるようになりました。

一方、国の公共事業の積極的介入は、税金によることから、財政問題も出てくる中で、1980年台から、「新自由主義」と呼ばれる考え方で、各国で市場原理を拡大させるための国営企業の民営化や規制緩和されました。

そして現在では、経済的格差の拡大、気候変動問題の深刻化、過度な海外依存による経済安全保障リスク等多くの弊害も生まれました。

※) 実行計画の詳細の内容については、内閣官房HPの新しい資本主義実現本部/新しい資本主義実現会議のサイトをご確認頂きたい。

<新しい資本主義>

「新しい資本主義」のモデルは、ハーバード大学教授レベッカ・アンダーソンの「資本主義の再構築」によると言われています。

その中で、「グローバルな資本主義は、投資家の利益を最大化させるために、地球全体が危機に瀕していることも見逃せない事実であるとした上で、持続可能な社会を実現するために、そして誰も取り残すことのない、共生社会を実現するための資本主義のシステムを再構築する必要がある」としています。

したがって、新しい資本主義は、「一人ひとりの国民の持続的な幸福を実現するものでなければならない」ことを前提に、「官民連携による社会的課題の解決とそれに伴う新たな市場創造・成長の果実は、多くの国民・地域・分野に広く還元され、成長と分配の好循環を実現していく必要がある」としています。

また、「気候変動、少子高齢化等の社会的課題への取り組みをつうじて、国民の暮らしにつながる、誰一人取り残さない、持続可能な経済社会システムを再構築し、国際社会を主導する必要がある」としています。



羽生市「さいたま水族館」と「チョウザメ池」

<自然との共生>

羽生市には、生物と自然をテーマにした羽生水郷公園の中に、「さいたま水族館」があります。河川・湖に生息する生き物の展示を中心に、チョウザメ池やカワウソの溪流のコーナーなどもあり、梅雨時期でも家族で楽しめる水族館となっています。

その中でも、チョウザメは、約3億年前からの古代魚の一種で、地球の歴史を刻んだ魚でもあります。中には、サメの一種と間違え方もいて、実際はサメに魚の顔が似ていて、鱗が蝶々に似ていることから「チョウザメ」と名付けられたと言われています。

また、チョウザメの卵を塩漬けた「キャビア」は、世界の三大珍味として有名ですが、世界的にも乱獲や河川改修などの影響により、2022年にはIUCN(国際自然保護連合)で、27種のチョウザメ類を絶滅危機種に選定しています。改めて、持続可能な社会のためには、自然との共生も必要であり、身近な河川の自然保護も重要になります。河川の災害、ゴミ問題もあり、地協の皆さんには「列島クリーンキャンペーン」でご協力頂いています。

そして、チョウザメさんから一言、「河川のゴミ捨ては、チョウ!ダメだよね」

2023.5.19